

杉友カヅヒロ

Suegimoto Kazuhiro Presents

人妻がメスになる日

【R18版】

1

人妻がメスになる日

第1話



だめよ惣司くん
これ以上は…



んっ



あ…っ

なに不自由の無い
結婚生活でした

ただ一つを
除いては…

志津香さんっ

有美さん

今上がる所？

よかったら
帰りにお茶
していかない？

いいわよ
今日はエステの
予約もしてないし

シャワー
浴びてくるから
少し待ってて



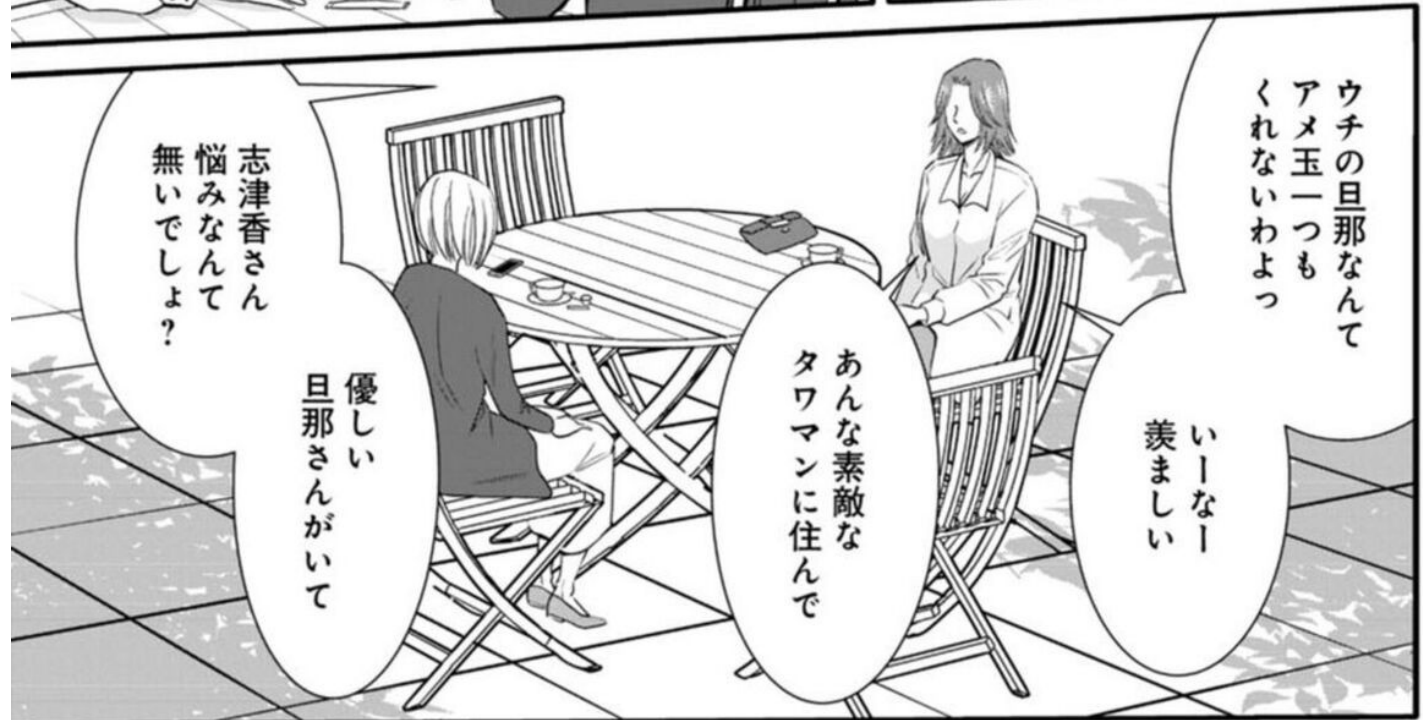
ねえ
志津香さん

そのバッグ
もしかして
セーヌ？

うん

やすのり
安則さんが誕生日に
プレゼントとして
くれたの

はあ
お高いんでしょ？



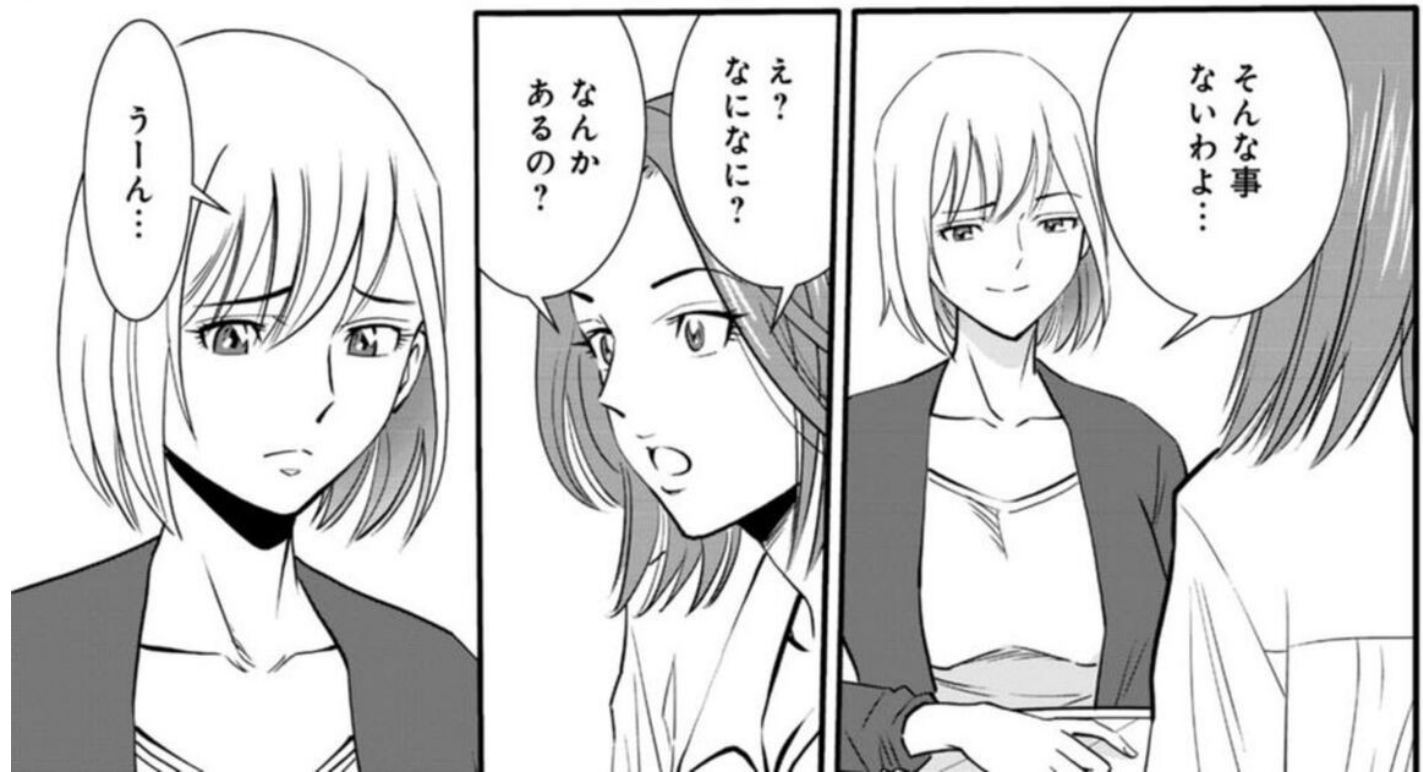
ウチの旦那なんて
アメ玉一つも
くれないわよっ

いーな
羨ましい

あんな素敵な
タワマンに住んで

優しい
旦那さんがいて

志津香さん
悩みなんて
無いでしょ？

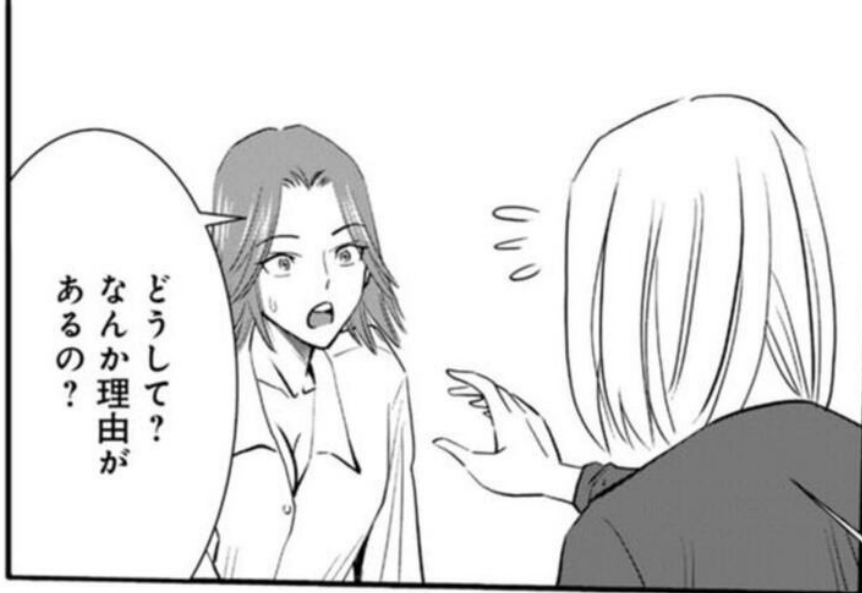


そんな事
ないわよ…

え？
なにに？

なんか
あるの？

うーん…



どうして？
なんか理由が
あるの？



ええ〜っ
セックスレスう!?

有美さんっ
声が大きいつ



わからないよ
聞けないよ
そんな事…

もう一年以上に
なるの…



一年で…

もしかして
他所よそに女が
できたとか？

ううん
それはないと
思う

仕事が忙しくて
それどころじゃ
ないみたいだし



私って
女として魅力
ないのかな？

そんな事ないわよ
志津香さん
美人だし
スタイル良いし

う〜ん
セックスレスの理由は
置いといて…

女盛りを
持て余してるのは
もったいないわねえ

マッチングアプリで
若い男の子見つけて
ストレス発散
してみたら？

冗談やめてよ

それこそ
女としての
旬は過ぎたって

認めるような
ものじゃない

そんな惨めな事
したくないわ

あははっ
ごめんごめん

じゃあ
セクシーな下着で
旦那さんに
迫ってみるとか…

えー!?

セクシーな
下着か…

いいかもね…



その結果がこれ…

誤解しないで
ほしいんだ


志津香の事は
今でも
世界で一番
愛してる

ただ結婚してしまうと
どうしても
家族という目で
見てしまうんだ


なんて言うか…
親友みたいな感じで…

どうしても
そんな気分
に
なれないんだ


…ごめん…



安則さんと
幸せになりたいくて




家族になりたいくて
結婚したのに…



その結果が
これだなんて

惨めすぎる



…うん
わかった

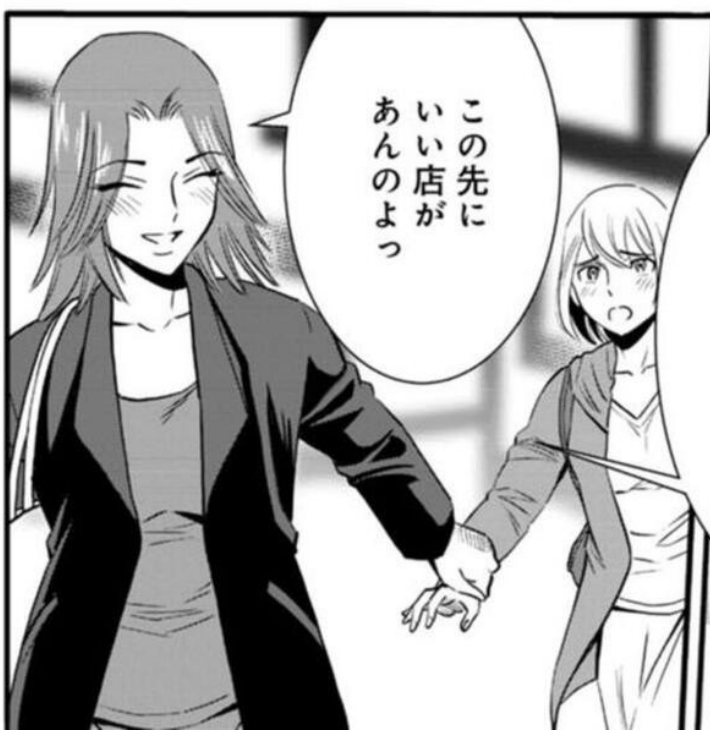
私ってば
何を笑ってんのよ!



そっかー…
余計なアドバイス
しちゃった
みたいね



よーしっ
飲みに行こうっ
奢るからさっ



たまには
旦那に心配させて
やればいいのよっ

よーし
もう一軒行こう！

…でも
もうこんな時間…

そうして
連れてこられたのが
この店でした

いらっしやいませ

…あ
有美さん

いらっしやい

ヤッホー
惣司くん

友達連れて
きたよーっ

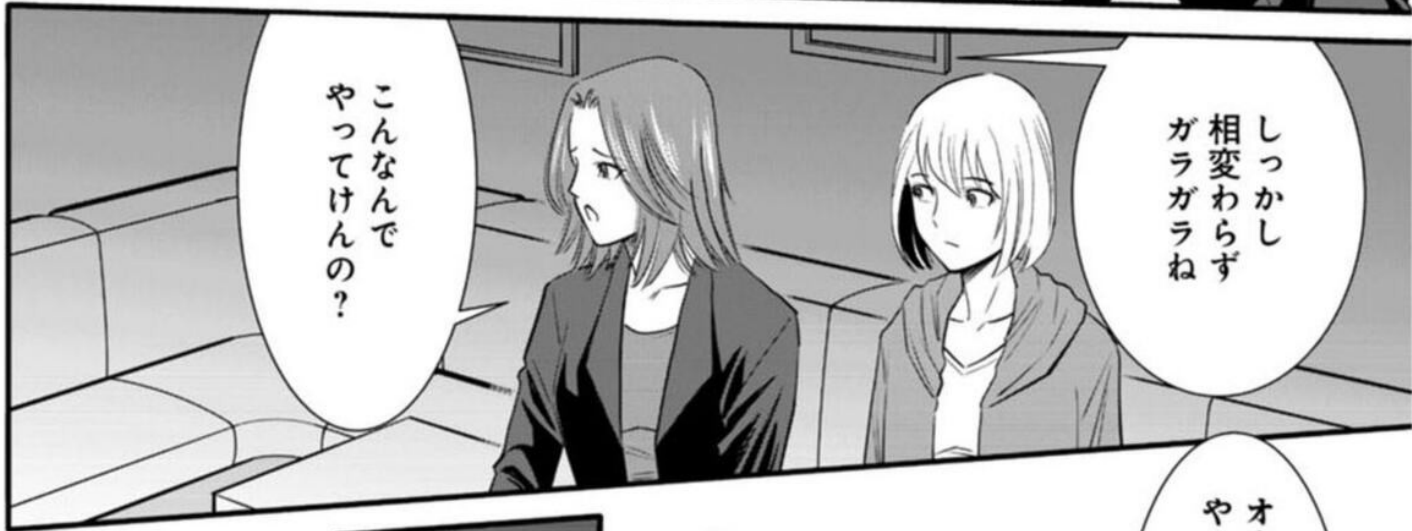
いらっしやいませ

あ…
ども…



「若いのに随分と
落ち着いているな」

それが彼の
第一印象でした



しっかし
相変わらず
ガラガラね

こんなんで
やってけんの？



オーナーが道楽で
やってるみたいなお店で


俺は単なる
雇われマスター
なんで

給料さえ
ちゃんと貰えれば


ドコ

……

思えば
あの笑顔が
始まりでした




そして次第に
私一人でも：



その日から私は
その店に
通うように
なったのです


初めのうちは
有美さんと
二人で



安則さんとの
セックスレスの日々は
続いていました

夫に理解のある
妻として

平穏な日々を
送っていましたが



心の中では
寂しさと物足りなさが
積もっていきました



なんか自信
無くしちゃうなあ

そうなの…
私ともう
魅力ないのかな？



セックスレス？

そして
酔った勢いで
つい…



僕だったら
志津香さんに
そんな思い
させないのに…

…真顔…



忘れ…

…あっ
ごめんなさい
変なこと
言っちゃって



…え？





可愛い下着
ですね

あんっ

70

P...
...



ギョ
ギョ

ギョ
ギョ



あ...っ

がっ



キゅんッ

んんッ!



だ…っ
だめよっ
惣司くんっ

これ以上
進んだら…っ



ふんふん…っ

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

戻れなくなる…



ぐわんぐわん

…っ



だめよ
惣司くん

そこは...

ああっ!!

あっ
あっ

あっ

んんん...

んんっ



久しぶりに見る
男性のそれは

とても猥褻で

それでいて
とても美しく

立派で
猛々しくて

それはもう
見惚れてしまう
程に…

…いいですか？
志津香さん…

これを受け入れてしまったら
本当に元には戻れない…

それなのに
私は…

ツリ…





ガッ

ズッ

入ってくるうう!!

あああっ
入ってくる...

私の体を
押し広げて

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ハッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ



んああつ!!

す...こ...じ

はんっ

んん...っ

はっ

久しく忘れていた
自分の中に
他人を受け入れる
この感じ...

男性が一生懸命に
私に腰を打ち付ける
この感じ...



たまらなく
愛おしい



んんんっ

……はっ

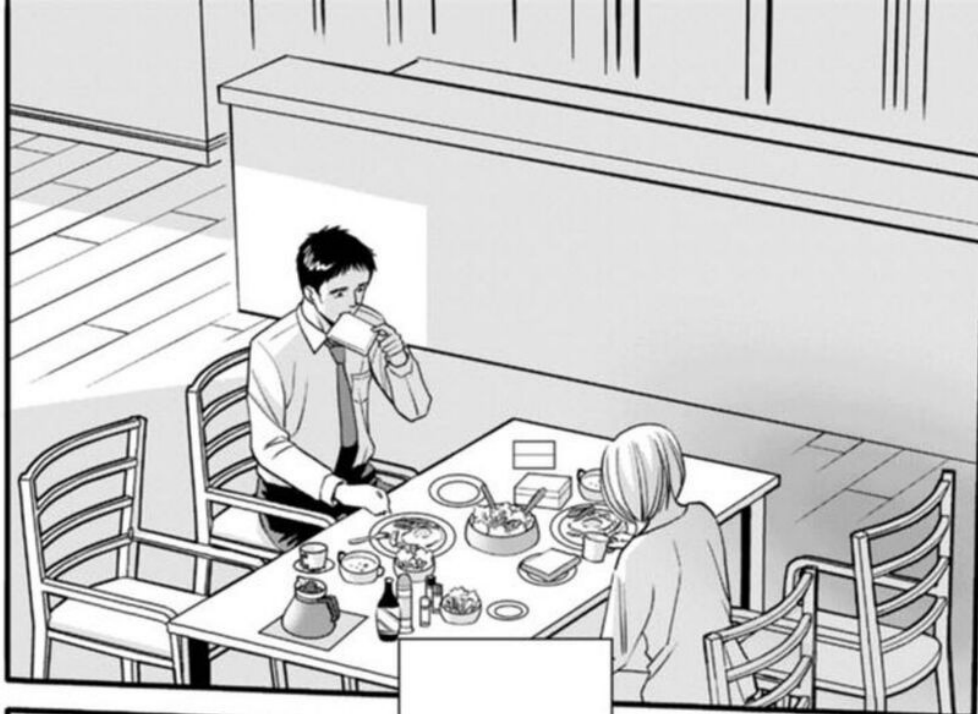


ごめんなさい
安則さん

でも
もう止まらない

止められないっ

その夜私は
快楽を貪り食う
獣になりました



…でも



現実に戻った
私を
襲ったのは



恐ろしいまでの
背徳感と罪悪感…

…でも
私はあの快感を…



それじゃあ
行ってくる

行ってらっしゃい

人妻がメスになる日

【R18 版】

1

杉友カツヒロ

© 杉友カツヒロ / 秋水社 ORIGINAL

▼秋水社の作品が 1 話無料で読める！

<https://www.shusuisha.com/>

▼著者へのお便り、作品に対するご感想は

上記サイト内お問い合わせページか

下記住所まで

〒112-0004

東京都文京区後楽 2-3-25 金子ビル 4F

※本作品の無断転載・複製・複写・上映（インターネット上を含む）を禁じます。

※本書を第三者に依頼しスキャンや電子化することは一部の例外を除いて

著作権法上禁じられています。